

HOYOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】 兵庫教区広報部

2013. 5 189号

発行所

まことの保育を学ぶ — 保育連盟新任研修会 —

五月十八日、神戸別院 加盟の保育園・幼稚園に
本堂にて『平成二十五年 新しく新任された保
育兵庫教区保育連盟新任 士・幼稚園教諭等を主な
研修会』(兵庫教区保育 対象に、基本的な仏事作
連盟主催)が開催された。
本研修会は、保育連盟 育』について研修を深め

ることを目的に、毎年開 職員より『宗門の作法と
かれるものである。 仏事』と題して、浄土真
会は井村智眼氏(保育 宗の仏参作法やその意
連盟理事長/真浄寺保育 味・由来等についての説
園)の挨拶により開会。 明がなされ、新任の先生
続いての研修会では別院 らに実際に焼香の作法を



熱い思いを語られた(牧野氏)

行ってもらおう等、参加型
の講義が行われた。

その後引き続き、牧野
桂一氏(筑紫女子学園大
学日本語・日本文学教科
授)より『子どもの最善
の利益をめざすまことの
保育』と題して、講演が
おこなわれた。

講演では『まことの保
育の根底を支えるもの』
として、その教育・保育
課程についての説明がな
され、『まことの保育の
4つのおやくそく』①阿
弥陀様をおがむ子ども
(信順・讃嘆・歡喜)(人
間観) 仏に帰依する②あ
りがどうの言える子ども
(照育・反省・報謝)ご
縁をいただく③お話をよ
く聞く子ども(聞法・了
解・精進) 法に帰依する
④なかよくする子ども
(報恩・和合・奉仕)(社
会観) 僧に帰依する。と
保育所保育指針との関連
などについて様々な話が
なされた。

閉会式では藤井貴久子
氏(保育連盟副理事長/
本願寺派湊川保育園)の
挨拶で閉会・茶話会の後、
散会となった。



今年の冬
は寒い日も
多く、家族
みんな身体
の調子を崩

すことが多くありました
◆子どもはまだ小さくて
風邪を引きやすく、この
冬は小児科にお世話に
なった回数は二十回を数
えました。生まれて初めて
熱性けいれんを起こし、マ
イコプラズマ、アデノウイ
ルスなど、聞き慣れない病
気を家族間で貸し借りし
ながら冬を過ごしました
◆健康第一!よく聞く言
葉ですし、実感もしていま
す。健康であることの有り
難さが身に染みました。で
すが、この冬、子どもが教
えてくれたのは健康にな
ることではなく、病になる
身を生きているということ
だったように思います◆
確かに健康が良いと願う
けれども、同時に病にな
りうる身を生きている。避
けようのない事実であり
ましょう。だからこそ、そ
の病苦を生きる姿は殊更
に愛おしく切ない。親に
なつて初めて知らされまし
た。

姫路南組最勝寺 八木顕宣

仏婦活動の充実を願って

―仏婦幹部一泊研修―

五月十四、十五の二日間に渡り神戸別院にて『兵庫教区仏婦連盟幹部一泊研修会』が行われた。

各組仏婦代表者が集まり、み教えについての理解を深め、各組・寺院における活動の発表、代表者同士の交流を図る事を目的に行われる研修であり、今年には八十名の参加のもと開催となった。

会は、献灯・献華・献香、重誓偈の後仏婦綱領を全員で唱和、滝口教務所長、前田厚子教区仏婦連盟委員長挨拶にて開会。

続いて田中信勝師（仏婦総連盟講師／佐賀教区北山組最勝寺）より『私にとつてお寺とは』との講題で、講義が行われた。

続いて講義を受けての分科会が開かれ、おゆうじの後、会場を神戸メリケンパークオリエンタルホテルに移して夕食懇親会が開かれた。

翌日は、朝の集いとして釋氏清子師（阪神西組源光寺）より『仏教讃歌』の指導があり、休憩をはさんで分科会発表、まとめの講義が行われた。

最後は宮前千鶴子副委員長が閉会の挨拶を述べ、恩徳讃の斉唱にて閉会となった。

『まとめの講義』より 田中師講義（抜粋）

仏婦の基本の心は、真実を求めて生き抜かれた親鸞聖人のみあとをしたという事なんだ。

その真実とは『仏様の心』としての『大慈悲心』であり、それは『人の痛みを我が痛みとし、人のよろこびを我がよろこびとする』そういう心が私の中に来てください。それを受け取っていく、それを信心というんだよ、

と。

その信心が、私の中ではたらい下さった時に、「人のよろこびを我がよろこびと本当に出来ているのかい？人の悲しみを本当に私の悲しみとして受け取ることができているのかい？」ということが常に問われていきます。

問われていくということとは、そう出来ていない私が明らかになるということですよ。

よくお聴聞をされて、言葉として色んなことを覚えやすいですね。しかし、言葉として覚えるということと、身でそれを体験しているということは違いますよ。

体験するということとは、これは身体で了解（りようげ）するという事です。

礼讃文をご覧いただくとうわかります。『：自ら法に帰依し奉るまさに願わくば衆生とともに大道を体解して無上意を発さん：』身体で了解していくんだとあります。理屈を覚えるんじゃない

んだと。

お聴聞をして『恥ずかしい』という言葉が憶えているということと、私がお恥ずかしいと『身をもって感じて』ということとは意味が違いますよ。

植木等さんの歌でありました『チョイト一杯のつもりで飲んでいつの間やらハシゴ酒気がつきや ホームのベンチでゴロ寝これじゃ身体にいいわきゃないよ分っちゃいるけどやめられねえ』

『わかっちゃいる』とこのが理屈なんです。

『やめられない』というのが身です。だから、『頭で憶えている』ということと、私がそこで『生きて』ということとは違ふんですよ。

お恥ずかしい私でございます。：と。そしたら、如来さまのお心が私の中ではたらいきて、人の悲しみを私の悲しみと出さない、人のよろこびと出さない、といことは恥ずかしい私なんだ、という『慚愧心（さんぎしん）』が生まれてくるんです。

『恥ずかしくなくなりたい』と思う心』を恥ずかしいと言いますよ。

言葉で恥ずかしいと言っても、そういう心が起こらないなら、それは恥ずかしいと思つてないんです。

そうすると、仏様のところがはたらいきてくださるば、そこに私の

の姿がいよいよあきらかになった時に、人の悲しみを我が悲しみと出来ていない、人のよろこびを嫉んでしまう、そんなお粗末な私がいた時に、これじゃいかな、と。

できない事かわからんけれど、少しでも人の悲しみを自分の悲しみにしていこう、人のよろこびを本当によろこべる様になろう、と。これが、恥ずかしいということの中身なんです。

私は、煩惱によつて自己中心的な生き方しかできない、そこをまた、如来様がナンマンダブツとはたらいくださった時に：。その繰り返しです。

よ、いのち終わるまで。仏様には成れないけれど、仏様の心を生きていることはできるじゃないですか。それが仏婦活動の根幹なんです。

少しでも、出来るところから、仏様の心に沿うように、この私が生きていこう、願いをいただきながら生きていこうというところに、私達の活動の原点があります。



丁寧な語り口の田中師

葬儀について学ぶ

〜特法協会員が研修〜

兵庫教区特別法務員協議会は四月二十六日、『総会並びに研修会』を神戸別院で開いた。

総会では、特別法務員協議会（特法協）会員二十四名が参加の中、今年度の活動計画・方針が確認された。

総会に引き続き行われた研修会では、堤楽祐

師（勤式指導所主任）を講師に迎え、『葬儀の歴史と規範の変遷について』と題して、日本における仏式の葬儀、浄土真



分かり易く解説頂いた(堤師)

宗の葬儀の歴史、葬儀規範の変遷など、多岐に渡った講義が行われた。

講義の中で堤師は「葬儀の形は時代とともに変わります。その変遷の中で、真宗の教えから離れた儀礼が混ざってくる場合があります。何より、住職が真宗教義をしつかりと勉強していただき、その見る目を養っていただくことが肝心であります」と話した。

特法協では今後、神戸別院諸法要への出勤・協力や、研修会の開催等を予定している。

ユニバーサルデザインとは

〜ビハラ兵庫公開講座〜



和やかな雰囲気での講義(幸福氏)

四月二十三日、『ビハラ兵庫公開講座』が別院にて開催された。

ユニバーサルデザインをテーマに、幸福新祐氏（神戸市保健福祉局総務部）を講師に『ユニバーサル社会の実現』と題して講義が行われ、ユニバーサルデザインとバリアフリーデザインとの違い等

についてお話を頂戴した。

バリアフリーとは「特定の誰かのための取り組み」（階段にスロープをつける等）であるのに対し、ユニバーサルデザインとは「最初からみんなにやさしいデザインを考へること」（障壁、障害物となるものが元々無いデザイン）であること、など基本的な概念や具体的な取り組み例について学びを深める講座となった。

お浄土の響き

—『清風会』活動中—



三管・三鼓の音色が響く

兵庫教区には、その雅楽の演奏者の会『清風会（しょうふうかい）』がある。会の起こりは今から約

三十年前、「神戸別院の報恩講を雅楽の音色で荘厳したい！」という熱い願いのもと、中村信之師（神戸西組浄行寺）と、当時の教務所長により発

腕を磨いている。会では、自分の持ち管だけでなく、鞆鼓や鉦鼓、太鼓といった打ち物の練習も行われている。また、若手の会員も増えており、雅楽の素晴らしさを伝えたいという熱意を持った会員の情報交換や、若手僧侶の交流の場ともなっている。

法要の厳かな雰囲気を作

以来、神戸別院の報恩講法要をはじめ、各種法要において、結衆の入室時や登壇などの作法の折りに、陪臚や越殿楽などの雅楽古典曲目が演奏されている。※現在は兵庫教区特別法務員協議会（特法協）の雅楽練習会として活動。

会員の宮里哲人氏（神明組光源寺）は「月に一度集まって合奏する機会があり練習が出来るので助かる。良い機会をいただいたと思うし、会が身近な所にあつて良かった」と話す。

『清風会』という会名の由来は、親鸞聖人のご和讃『清風宝樹をふくときはいつつの音声いだしつつ宮商和して自然なり清浄勲を礼すべし（浄土和讃）』から命名。

練習は月一回、第二火曜日の十九時〜二十一時、神戸別院三階総会所にて。＊八月と十二月は除く。

現在登録の会員は百名を超え、月に一度の練習会には毎回二十名程の会員が集まり、その

お問い合わせは特法協事務局まで。電話：〇七八（三四二）五九四九

教区だより 6月・7月

6月

1 (土)	門推の日 第一土曜仏教講座(遠藤久和氏 扇子中啓製造販売遠藤新兵衛商店)	10:00 13:30
5 (水)	仏青役員会 第3ブロック 少年連盟研修会(6日まで) 滋賀	15:00
6 (木)	布教団平成25年度総会・研修会 ビハーラ役員会	10:30 13:30
7 (金)	布教団平成25年度総会並びに研修会 別院仏婦定例法座(森川晋乗師 神姫組)	10:30 13:30
9 (日)	仏社報告総会・姫路・西播大会 市川文化センター 中仏集い会	13:30
10 (月)	護持口数調整に関する検討委員会 ①号委員会	13:30
11 (火)	本典勉強会(12日まで)	13:30
13 (木)	常備会	13:30
15 (土)	常例法座(川本法綱師 多可組)	13:30
16 (日)	別院仏教社年会 永代経法要(川本法綱師 多可組)	13:30 13:30
17 (月)	青僧会役員会	16:00
18 (火)	第1回 少年連盟50周年スタッフ会議	15:00
20 (木)	別院責役・総代会	
21 (金)	近畿ブロック寺族婦人会連盟連絡協議会	15:00
23 (日)	第17期連研修者大会	10:30
24 (月)	仏学寮真宗講座(25日まで)	13:00
25 (火)	弘婦平成25年度教区大会 三田市・郷の音ホール	
26 (水)	青僧会連続研修会(佐々木義英師)	14:00

7月

1 (月)	教区会	10:30
2 (火)	兵庫県仏教誨師会総会	15:00
3 (水)	第9回新坊守・坊守後継者の集い	10:30
6 (土)	門推の日 第一土曜仏教講座 特法協勤式練習所	10:00 13:30 13:00
7 (日)	別院仏婦定例法座(岩田 勝師 播磨中組)	13:30
10 (水)	本典勉強会(11日まで) 第2回 少年連盟サマースクールスタッフ会議	13:30 15:00
11 (木)	仏婦単体会会長研修会	
12 (金)	現生正定聚講師団研修会(岩本孝樹師) 御同期の社会をめざす運動研修会(岩本孝樹師) 神戸市仏教連合会【仏教文化講座】	10:30 13:00 16:00
13 (土)	特法協勤式練習所	13:00
14 (日)	青僧会聞法大会 江並教室	13:00
15 (月)	常例法座(天野真隆師 揖龍東組)	13:30
16 (火)	別院仏教社年会	10:00
17 (水)	総代会一泊研修会(18日まで)	12:00
18 (木)	近畿地区 寺族青年軟式野球大会 滋賀	
20 (土)	特法協勤式練習所	13:00
21 (日)	仏社連盟阪神・神戸ブロック研修会	
23 (火)	少年連盟50周年記念 サマースクール(25日まで)	13:00
27 (土)	特法協勤式練習所	
28 (日)	第29回若婦人のつどい	

【支援金】妙教寺六千六百
ます。

東日本大震災 支援金・義援金報告

次の方々より支援金・
義援金を頂きました。紙
面をもって御礼申しあげ
ます。

寺門信徒一万円▽兵庫教
区寺婦連盟四万二千元
【義援金】神明組西明寺十
万円▽阪神東組吉祥寺二
万円▽第八回仏教讃歌コ
ーラスフェスティバル参
加者一同四万九千三百三
十九円▽出石組光顯寺門信
徒会二万円▽じようせん
保育園一輪車クラブ一万
一千元

八十一円▽神戸東組西念
寺十万円▽岡山北組報恩
寺仏教婦人会四万四千六
百二十一円▽神明組西明
寺十万円▽新宮組三万円
▽兵庫教区寺婦連盟二万
二千元▽養父組念願寺二
万円▽阪神北組仏教婦人
会六万円▽阪神北組長宣
寺門信徒一万円▽兵庫教

区寺婦連盟四万二千元
【義援金】神明組西明寺十
万円▽阪神東組吉祥寺二
万円▽第八回仏教讃歌コ
ーラスフェスティバル参
加者一同四万九千三百三
十九円▽出石組光顯寺門信
徒会二万円▽じようせん
保育園一輪車クラブ一万
一千元

五月十九日、宍粟まど
か園(社会福祉法人正久
福祉会)特別養護老人
ホーム/宍粟市二宮町)
にて『まどかホ和つと
フェスティバル』が開か
れ、ビハーラ兵庫会員五
名がボランティアとして
参加した。

お釈迦様の誕生をお
祝いする『花まつり』が
行われた後、餅つきや大
同芸、宝塚歌劇団OGの
ステージなど、様々な催
しが開かれる本フェス
ティバル。ビハーラ兵庫
も無料の飲食バザーを出
店し、施設利用者やその
家族、地元の人々で賑わ
う中、アイスクリームや
フルーツポンチなどを振
る舞った。

【平成二十五年日程】
〔門徒総代会〕
◇ブロック名/期日/会場
◇阪神・神戸/十一月十七
日(日)/神戸別院◇東播
/九月七日(土)/生石研
修センター◇姫路/十月

ピハ-ラ兵庫がボランティア ~宍粟まどか園にて~



総代会・仏社連盟
ブロック別研修会
日程決まる

二十七日(日)/姫路中組
法性寺◇西播/十月二十
五日(金)/たつの市「志ん
ぐ荘」◇丹波/十月二十
九日(火)/氷上西組西往
寺◇但馬/十月二十八日
(月)/会場未定◇岡山/
十月四日(金)/津山勤勞
者総合福祉センター
〔仏社連盟〕
◇阪神・神戸/七月二十一
日(日)/神戸別院◇東播
/七月上旬/会場未定◇
姫路/西播/九月八日(日)
/アクアホール◇丹波/但
馬/六月三十日(日)/朝
来組西方寺◇岡山/九月
五日(木)/岡山北組宝福
寺

敬 弔

左記の方がご逝去され
ましたので謹んで敬弔の
意を表します

長田 栄(岡山南組光善
寺前坊守) 平成二十五年
四月九日八十八歳
足利松栄(阪神東組安養
寺坊守) 平成二十五年四
月十六日七十九歳
小田成良(出石組本行寺
前任職) 平成二十五年五
月十九日八十一歳
五月二十日現在【敬称略】